

一般国道44号(北海道横断自動車道根室線) 尾幌系魚沢道路に係る新規事業採択時評価

- ・現道の課題箇所を回避し、津波浸水被害などの災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築
- ・北海道横断自動車道と連携し、物流効率化や観光周遊性の向上を支援
- ・第3次救急医療施設へのアクセス性向上により、救急搬送などの救急医療活動を支援

1. 事業概要

起 終 点: 北海道厚岸郡厚岸町尾幌
 ~ 北海道厚岸郡厚岸町系魚沢

- ・延長等: 24.7km
 (第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約650億円
- ・計画交通量: 約8,200台/日

乗用車類	小型貨物	普通貨物
約4,600台/日	約600台/日	約3,000台/日



2. 課題

災害に対する道路ネットワーク

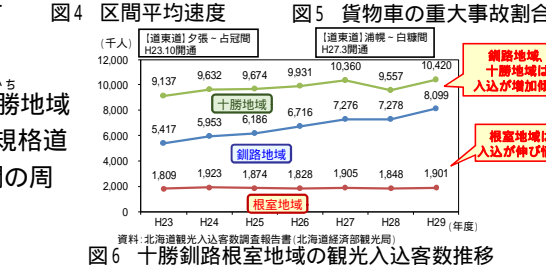
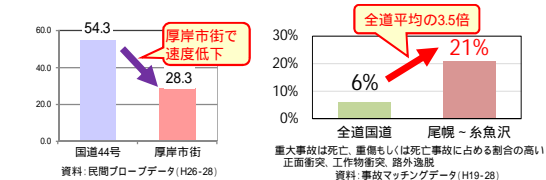
・現道の国道44号は湿地帯を通過し、低地部では、冠水による通行止めが発生しやすく、冬季には吹雪による視程障害が発生。
 (写真1、写真2)

・また、釧路~根室間を結ぶ国道44号のうち、厚岸町内の低地部を通過する区間が、津波浸水予測範囲となっており、災害時の道路ネットワーク寸断により、救援物資の輸送や災害復旧に大きな支障。
 (図3)

物流効率化や観光周遊に不可欠な道路ネットワーク

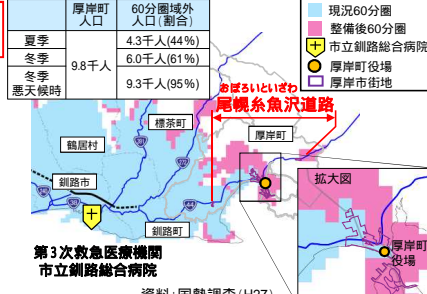
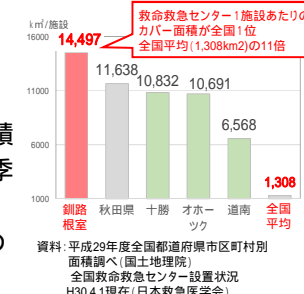
・釧路根室地域はさんまやさけ等の水産品や生乳等の主要な生産地だが、輸送経路となる国道44号では市街地部の速度低下や貨物車の重大事故が発生。(図4、図5)

・高規格道路の延伸に伴い、釧路地域と十勝地域は観光入込客数が増加傾向にあるが、高規格道路ネットワークのない根室地域は観光地間の周遊性が低く横這いで推移。(図6)



高次医療へのアクセス

・釧路根室地域の第3次救急医療施設は市立釧路総合病院しかなく、施設のカバー面積は全国1位の広さであり、冬季悪天候時には搬送時間が増加するため、厚岸町の人口の9割以上が60分以内に到達できない。(図7、図8)



3. 整備効果

効果1 災害時における信頼性の高いネットワークの構築

- ・高規格道路の整備により津波浸水予測範囲を回避する道路ネットワークを確保。
- ・冠水や吹雪(冬季)による通行止めの解消。(津波浸水予測範囲、冠水・吹雪通行止め箇所を回避)

効果2 物流効率化や観光周遊性の向上

- ・高規格道路整備により、農水産品の輸送効率が向上し、事故が低減し、地域の基幹産業である農水産業の生産性向上に寄与。
- ・釧路根室地域が有する釧路湿原国立公園や野付風連道立自然公園等の観光地間の周遊性が向上し、地域の観光振興を支援。(図9)

効果3 高次医療機関へのアクセス性向上

- ・高規格道路整備により救急搬送の速達性・安定性が向上し、高次医療施設60分カバー人口が増加。

市立釧路総合病院 60分 厚岸町カバー人口
 冬 季: 現況 3,800人(39%) 整備後 8,900人(91%)
 冬季悪天候時: 現況 500人(5%) 整備後 3,900人(40%)

費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR ¹	総費用	総便益
1.7	9.3%	790億円 ²	1,376億円 ²
(1.1)	(4.5%)	(454億円 ²)	(501億円 ²)

注) 上段の値は本別JCT-根室を対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果
 1: EIRR: 経済的內部収益率 2: 基準年(H30年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の 変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
17	1.00[D]	1.00[D]	235.08	0.08	0.06	
(5)	(1.00[D])	(1.00[D])	(63.57)	(0.04)	(0.00)	

注) 上段の値は本別JCT-根室を対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果



